

## ハマゴウ

*Vitex rotundifolia* L. f.

【選定根拠】 全ての個体群で個体数が減少 全ての生育地で生育条件が悪化

【形態】 高さ30～70cmの落葉小低木。砂の中をはう茎から枝が出てきて斜上し、微細毛が密生した楕円形の葉を対生させる。7～9月、漏斗形をした青紫色の花を枝の先に多数つける。花の長さは1.5cm前後。

【分布】 本州・四国・九州・沖縄、中国、朝鮮、東南アジア、ポリネシア、オーストラリアに分布する。

【県内の分布、生育状況】 浜通り地方の海岸の砂浜にまれに生育している。いわき市の新舞子浜には半球状の大きな群落があったが、現在はみられない。

【生育に影響を与えている要因】 海岸開発、防波堤の築造

【特記事項】 海岸開発や防波堤造りを抑制し、自然環境を残すことが望ましい。

【主要文献】

福島県植物誌編さん委員会．1987．福島県植物誌．481pp．福島県植物誌編さん委員会．いわき．

## アブノメ

*Dopatrium junceum* (Roxb.) Buch. -Hamil.

【選定根拠】 過去(30～50年)の生育確認後、情報なし

【形態】 抽水または湿地生植物。草高10～20cm。葉は狭長楕円形で、下部の葉は長さ1～1.5cm。上部の葉は次第に小さくなる。8～9月、葉腋に唇形花を1個ずつつける。花は淡紫色で長さ5～6mm、上部では1cm前後の柄がある。中部以下には柄のない閉鎖花をつける。1年草。

【分布】 本州・四国・九州・琉球、朝鮮、中国、東南アジア、インドに分布する。

【県内の分布、生育状況】 福島県植物誌(1987)に郡山市、白河市、表郷村、南郷村の記録があるが、いずれも古い資料に基づく記録であり、その後確認情報がない。

【主要文献】

福島県植物誌編さん委員会．1987．福島県植物誌．481pp．福島県植物誌編さん委員会．いわき．